

業 務 委 託 仕 様 書

業務名：防水扉定期点検整備（南北線、東西線）

令和 7 年 8 月

札幌市交通局

高速電車部 施設課

第1 一般事項

1 業務名称

防水扉定期点検整備（南北線、東西線）

2 業務概要

本業務は、札幌市高速電車線路設備である防水扉の定期点検及び整備を行うものである。

3 対象

対象は、以下に設置されている防水扉である。諸元については別紙1、形状及び寸法については別紙2を参照のこと。

- (1) 南北線 5k838m（幌平橋駅）
- (2) 東西線 7k203m（バスセンター前駅－菊水駅）
- (3) 東西線 7k465m（バスセンター前駅－菊水駅）

4 履行期間

契約書に示す着手の日から令和8年3月19日

5 関係法規等

本業務を履行するにあたっては、本仕様書の他に下記の法令等を遵守し、業務の適切な履行を図るものとする。

- (1) 高速電車線路検査要領
- (2) 労働安全衛生法
- (3) 日本産業規格
- (4) その他関係法規及び規格

6 労災保険

本業務を履行するにあたっては、労災保険関係を成立させること。

7 疑義

本仕様書の記載事項に対し、疑義が生じた場合は、応札以前に申し出るものとし、契約後については、契約書の規定に基づき委託者と受託者が協議のうえ定めるものとする。

8 履行内容等の変更

履行内容の変更とは、設計変更（仕様又は請負金額等の変更）及び履行期間変更であるが、その決定及び契約変更は、当該履行内容の目的を変更しない限度において、特に必要な場合のほかはこれを行うことができない。

履行内容の変更が必要と判断されるものについては、時期を失することなく委託者と協議すること。

9 検査

完了後は委託者の完了検査を受けること。また、完了検査前に社内検査及び清掃を実施すること。社内検査項目については、事前にこれを委託者に提出すること。

なお、業務に必要とする各種検査の立会及び関係書類の作成については、委託者の指示に従い、これに要する費用は全て受託者側で負担すること。

10 札幌市環境マネジメントシステムの運用への協力

受託者は作業従事者へ本市の「環境方針」（下記 URL 参照）を周知し、本市の環境配慮に対する取り組みについて理解させること。

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_torikumi/documents/kankyo_houshin.pdf

11 札幌市鉄道事業安全管理規程の遵守及び運輸安全管理の徹底

- (1) 受託者は、安全第一の意識を持って、札幌市鉄道事業安全管理規程で定める事項を遵守するとともに、輸送の安全を確保するために社内体制を整備し、業務従事者にこれを徹底すること。
- (2) 受託者は、委託者の輸送事業に係わる安全管理体制に積極的に協力するとともに、輸送の安全を確保するため、委託者との密接な連携を図ること。

12 現場管理

- (1) 業務責任者を責任者とし、機器の搬入、整備及び試験等の際には、関係法規等を遵守すると共に、常に細心の注意をもって安全に作業すること。また、危険と思われるものについては、適当な保安設備及び要員等を配置し、安全をはかること。
- (2) 業務責任者は、防水扉設備の構造・機能等を熟知し、動力機器に関する一般知識と整備経験を有する者を選定し、委託者の承諾を得ること。
- (3) 作業員は、本業務と同様の業務に精通している者を選定するとともに、事前に作業手順等を教習し熟知させること。
- (4) 作業員は、その所属が容易にわかる腕章、作業着、ヘルメット等を着用すること。また、業務責任者は他作業員と容易に識別できるようにし、営業時間帯における作業員の行動を管理すること。
- (5) 作業時は、常に整理・整頓及び清掃に心掛け、作業後の点検、確認を忘れずに行うこと。
- (6) ガソリン、火薬等の危険物を使用する場合は、委託者の許可を得るものとし、その保管、取扱には充分注意すること。
- (7) 作業上、火気を使用するときは、取扱に充分注意し、使用後の消火を確認すること。
- (8) 常に作業現場の入出場管理を行い、火災、盗難及びその他の事故防止に努めること。
- (9) 事故が発生した場合は、応急措置をとると共に、速やかに委託者に報告すること。
- (10) 業務着手から業務完了までの機器の保全、管理及び事故発生時の処理等は、すべて受託者の責任において行うこと。

13 提出書類

本業務を履行するにあたっては、下表の書類を提出すること。

項番	提出書類	数	提出期限	サイズ	備考
1	業務着手届	1	着手後速やかに	A4	
2	業務工程表				
3	業務責任者経歴書				
4	業務計画書	1	決定後速やかに	A4	実施工程表、作業要領、現場組織表、連絡体制表、安全管理
5	業務完了届	1	完了時	A4	
6	業務写真	1	完了時	A4	
7	実施報告書	1	完了時	A4	各種検査報告書等

(1) 1、2、3及び5の書類様式は、札幌市交通局指定のものを使用すること。

(2) 実施報告書には以下の内容を含むこと。

ア 防水扉定期点検整備表（別紙3）の点検結果

イ 防水扉検査記録（別紙4）の検査結果

ウ 作業写真

第2 詳細事項

1 作業日時

作業日時については、令和7年10月～令和8年2月のうち指定日の24:45～翌5:00とする。

ただし、指定日に実施できない場合は、委託者と協議の上実施すること。

作業当日は、23時50分までに駅に集合し、委託者の指定する場所にて作業開始時刻まで待機すること。また、全ての作業及び軌道外への退避を、翌5時までに終了させること。

2 作業概要

点検作業にあたっては、委託側担当者と十分な打合せを行い遺漏の無いようにすること。また、委託者が選出する作業責任者の指示に従い行動すること。

- (1) 「定期点検整備表」(別紙3)及び「防水扉検査記録」(別紙4)に基づき作業を実施すること。
- (2) 架線に接触しない範囲で電動及び手動にて動作試験を行うこと。その際には、架線を切断しない様に細心の注意を払うこと。(別紙5「操作説明書」参照)
- (3) 別紙2に示す自動休止装置の指定部位について浸透探傷試験を行い、亀裂の有無を確認すること。なお、試験方法はJIS Z2343-1(非破壊試験-浸透探傷試験-)によること。
- (4) 防水扉昇降用ワイヤーロープについては一部清掃を実施し、素線切れ及び摩耗等の劣化状態を確認すること。
- (5) 作業中に発見した不具合箇所については、速やかに委託者に報告すること。
- (6) 防水扉点検時の転落防止用ワイヤーロープを防水扉の動作に支障が無いように、各現場に常設設置すること。

3 作業工具について

- (1) 受託者は本業務で使用する作業工具等について事前に点検し、実際の使用に支障の無いようにすること。
- (2) 作業で使用する工具等については、作業前後の員数が確認できる書類を作成し、移動経路と作業現場に置き忘れないよう注意すること。
- (3) 作業工具等及び消耗品(ウェス、養生シート等)は受託者にて用意すること。

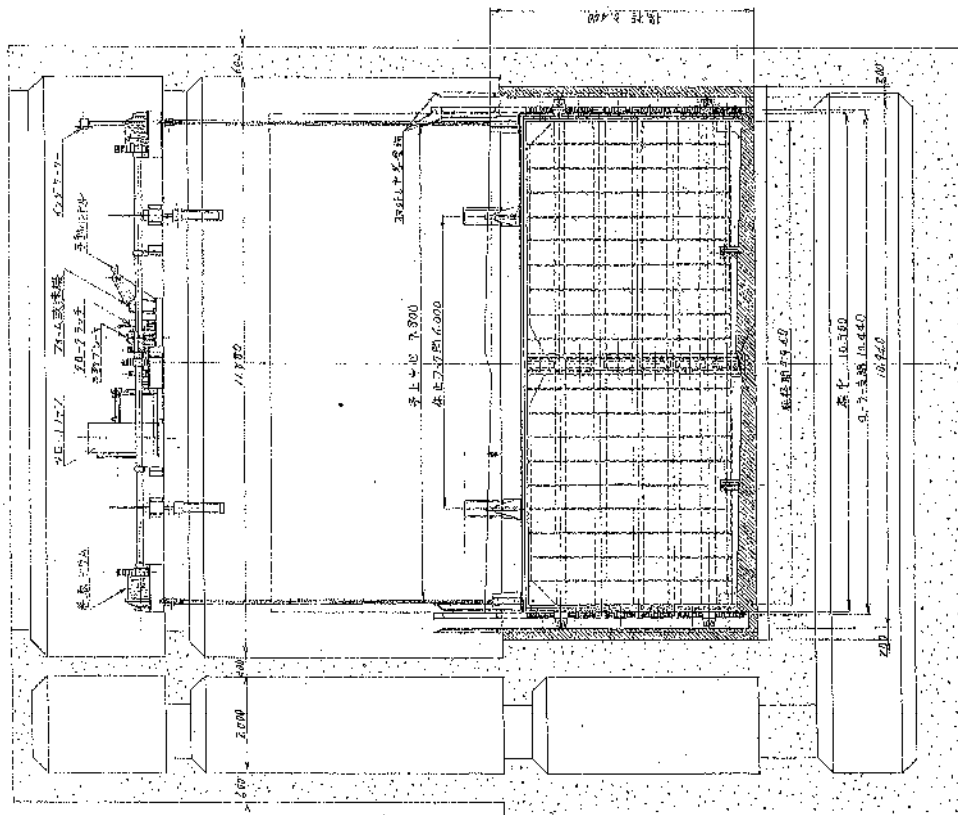
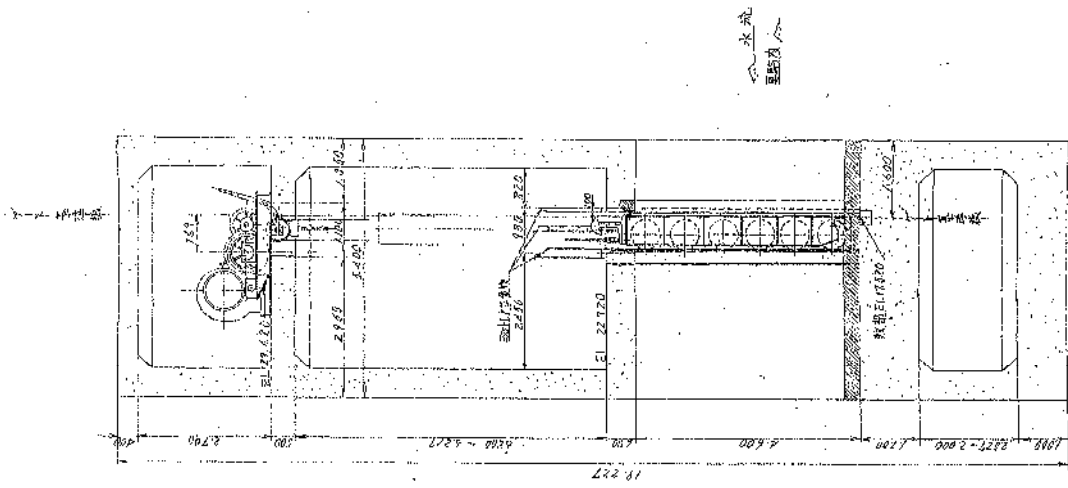
4 その他留意事項

- (1) 本線に入場する際は、委託者が選出する作業責任者の指示に従うこと。
- (2) 適正な工具の使用及び養生等を行い、安全対策を徹底すること。
- (3) 作業者は、ヘルメット及び安全靴等の保護具の着用を徹底し、周囲に注意を払い安全に作業すること。
- (4) 扉体の上で作業を行う際には、落下防止のために命綱等の安全対策を施すこと。
- (5) 作業中に走行路面上に物を落とさないように十分に注意すること。なお、物を落とした場合は、責任を持って回収すること。
- (6) 危険物及び火気を使用する場合は、事前に委託者と打合せ許可を得るものとする。その際は消火器を常備し、火の始末は確実に行うこと。

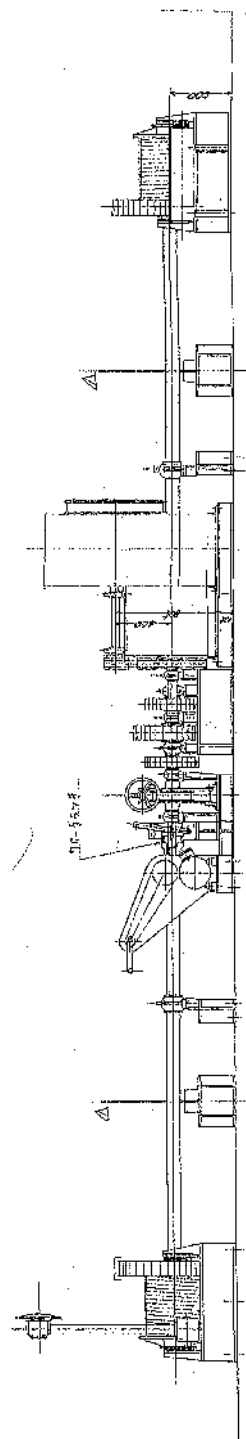
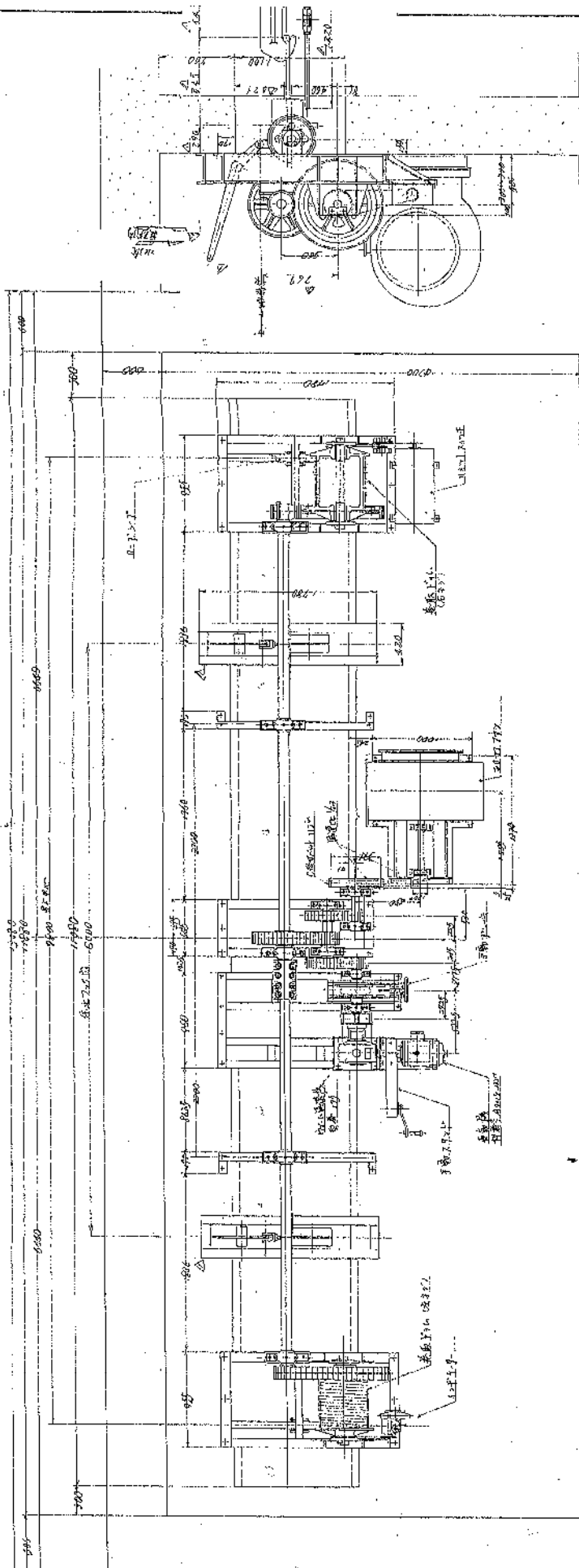
防 水 扉 諸 元

線別 項目	南北線（左岸）	東西線（左岸）	東西線（右岸）	東豊線（左岸）
	幌 平 橋 (5K838M)	バスセンター前 (7K203M)	菊 水 (7K465M)	豊水すすきの (8K388M)
型 式	鋼製ローラーゲート			
門 数	1 門	1 門	1 門	1 門
純径間×高	9.940×4.426m	10.100×4.970m	9.360×4.870m	10.847×4.660m
ゲート敷高	EL 17.771m	EL 1.572m	EL 1.414m	EL 7.973m
設 計 水 深	16.069m	16.287m	16.556m	17.257m
水 密 方 式	前面 4 方水密			
開 閉 方 式	電動複胴ワイヤロープ 巻 取り式（手動併設）	電動複胴ワイヤロープ巻取式 補助モーター及び手動併設		
開 閉 速 度	通 常 時 0.3 m/min 急降下時 2.0 m/min			
揚 程	5.4 m	6.4 m	6.4 m	5.5 m
操 作 方 法	現 場 直 接			
動力用電源	三相 415V 50Hz	三相 415V 50Hz 単相 200V 50Hz（補助用）		
許 容 応 力	SS400 に対して 1,600 kg/cm ²	SS400 に対して 1,350 kg/cm ²		
主桁たわみ	1／600 以下	1／800 以下		
扉本体重量	約 26.0 t	約 30.0 t	約 27.4 t	約 33.0 t

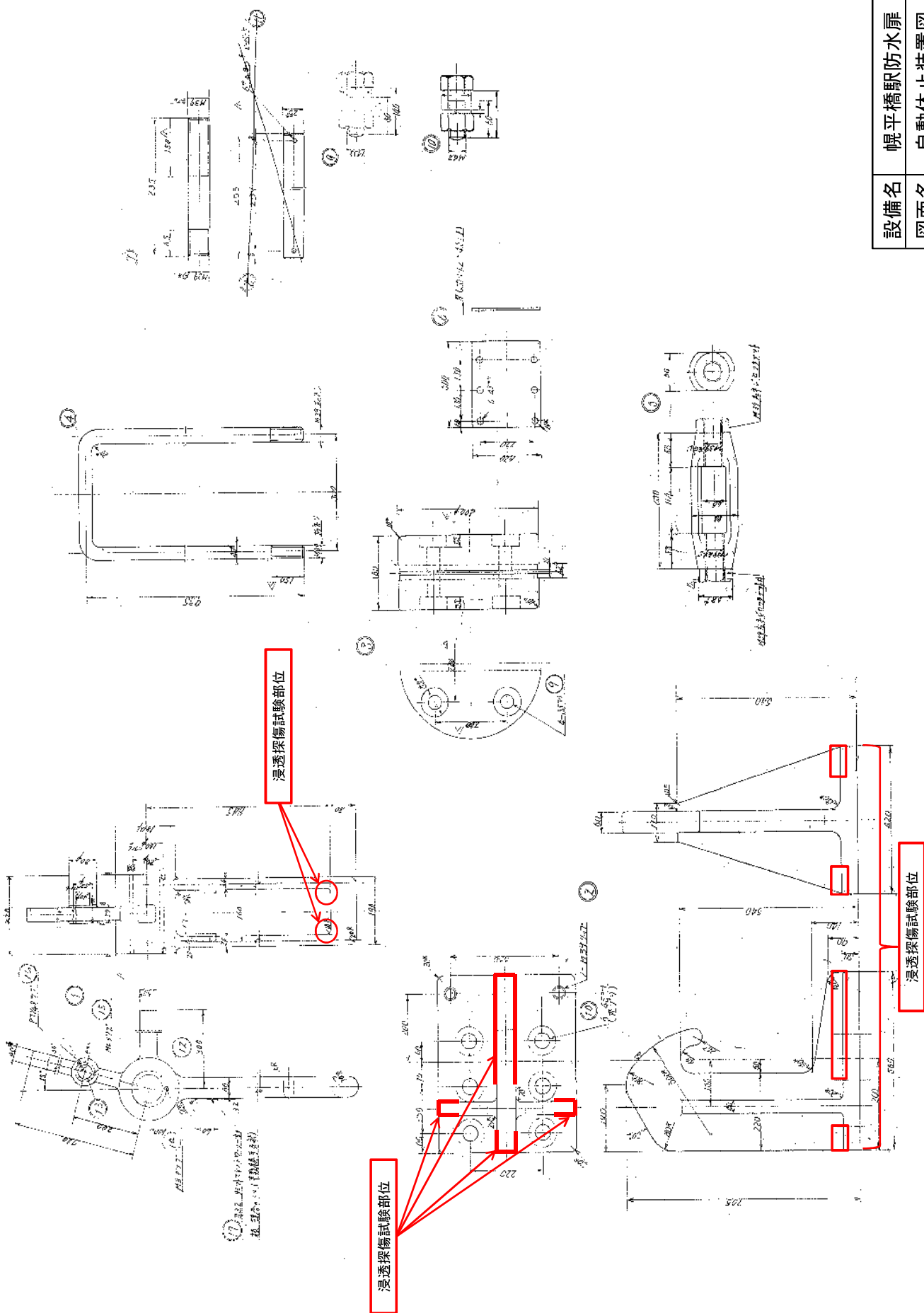
図面番号	1-1
図面名称	幌平橋駅防水層
図面内容	全体組立図
図面比例	1/100
図面単位	mm



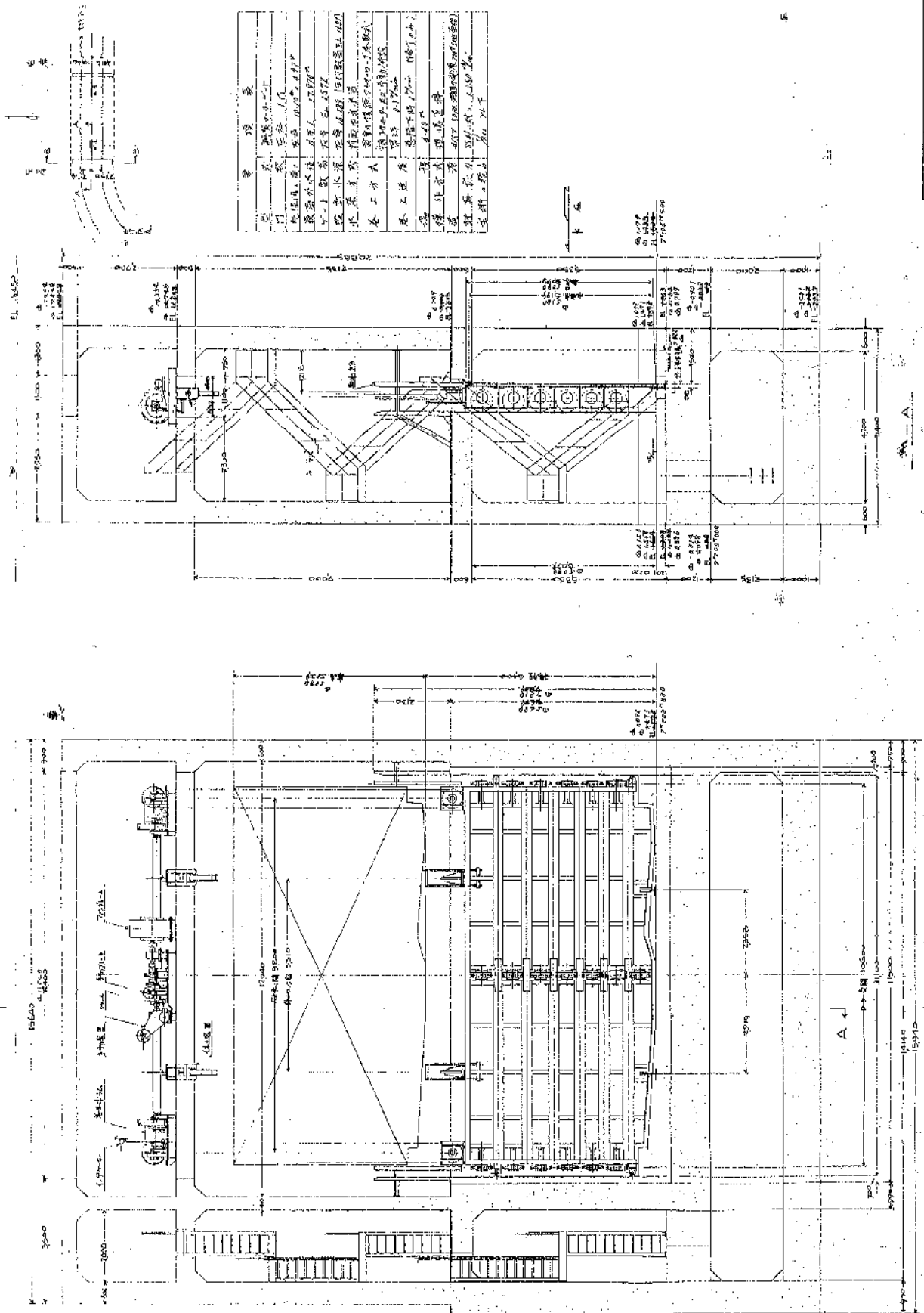
設備名	幌平橋駅防水層
図面名	全体組立図



設備名	堤平橋沢防水扉
断面名	開閉装置一般図

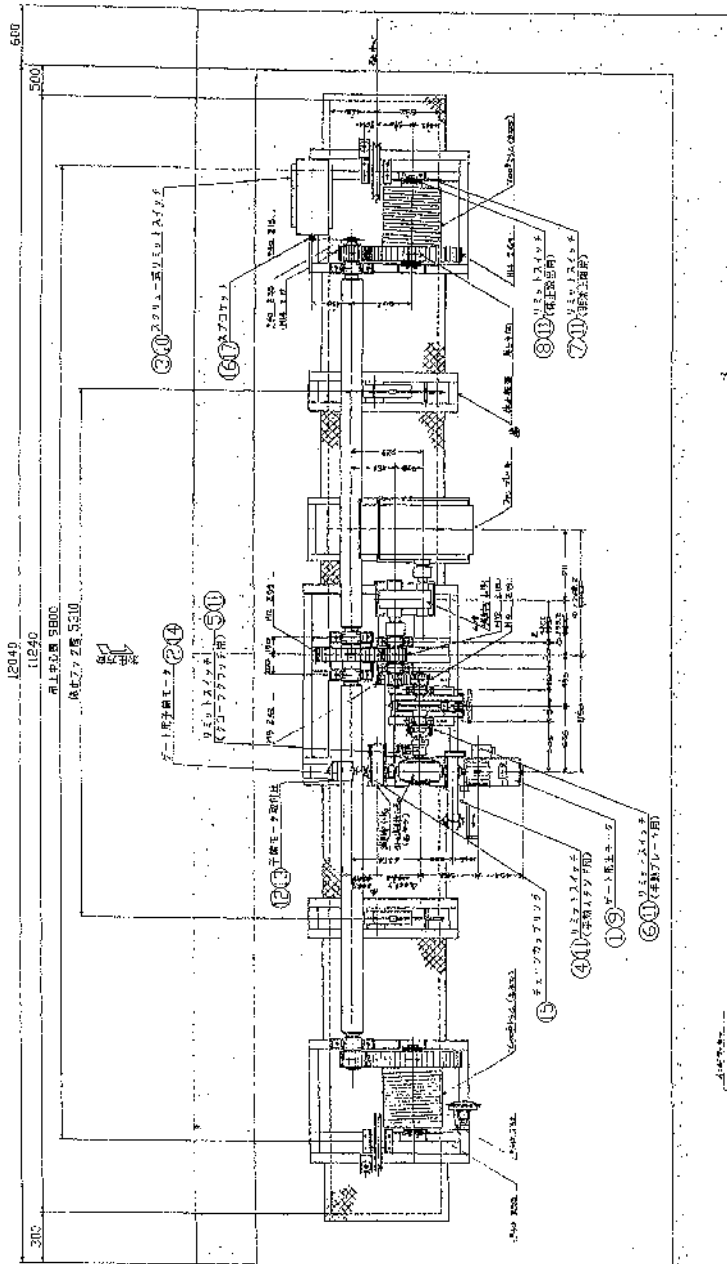


設備名	幌平橋駅防水扉
図面名	自動休止装置図



設備名 バスセンター前防水層
図面名 全体組立図

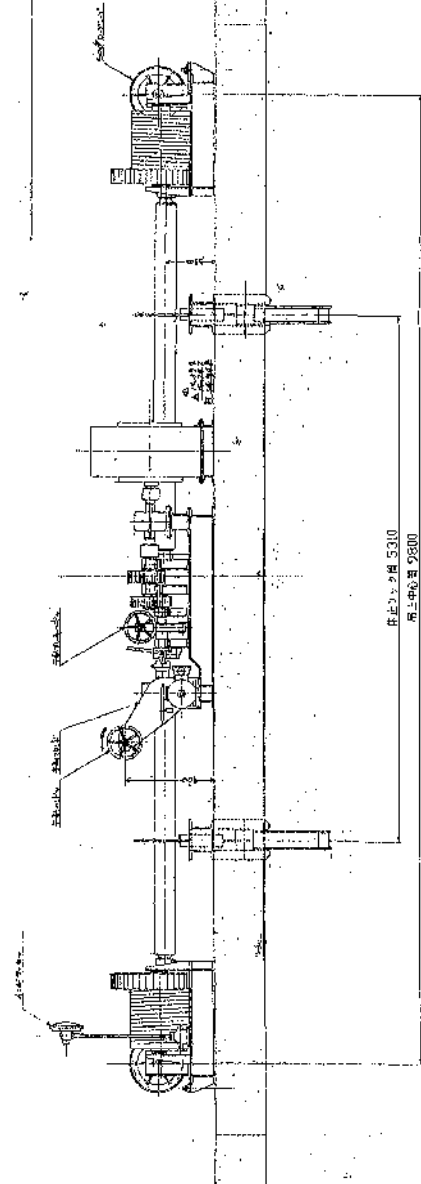
5 15972

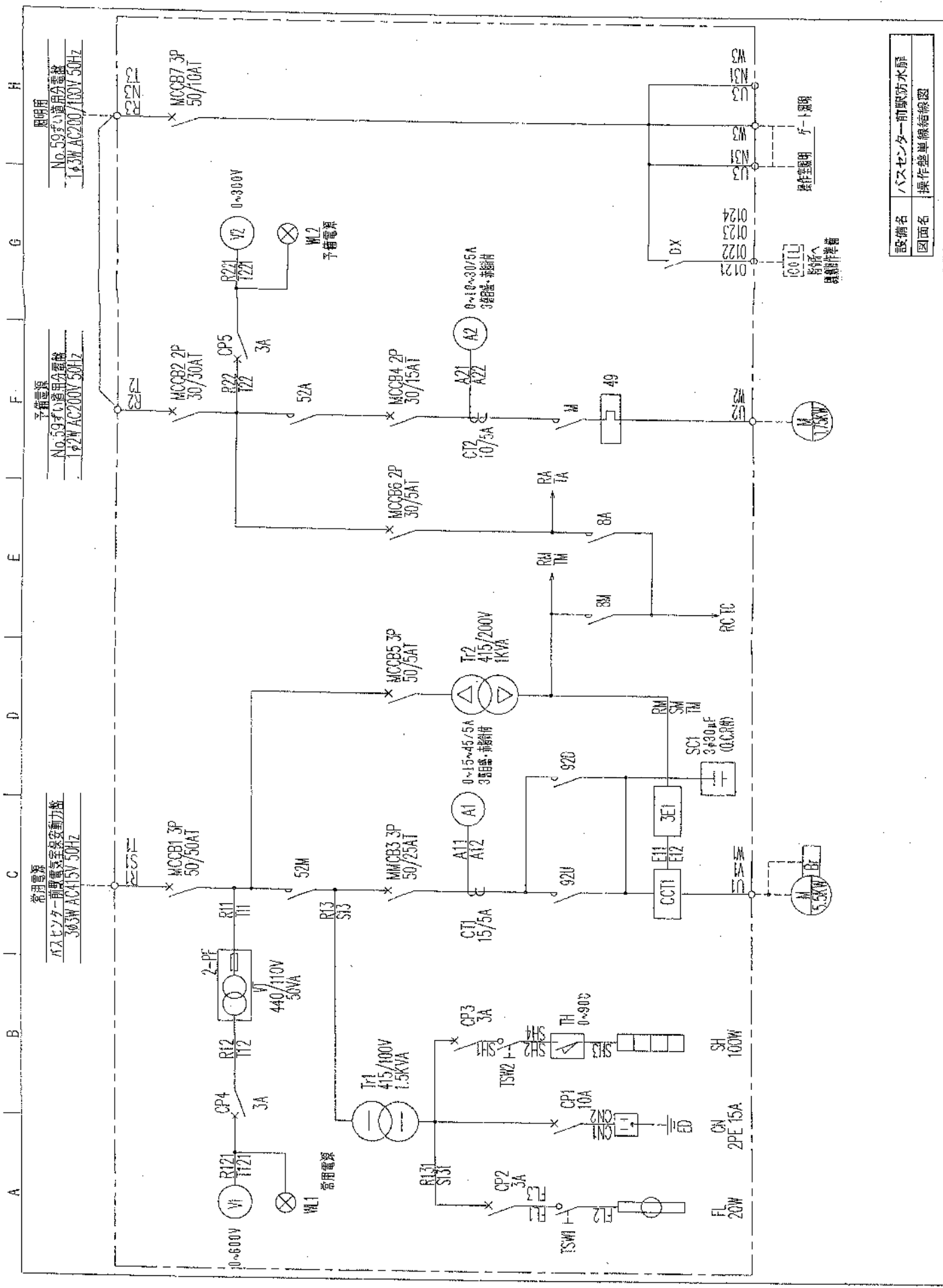


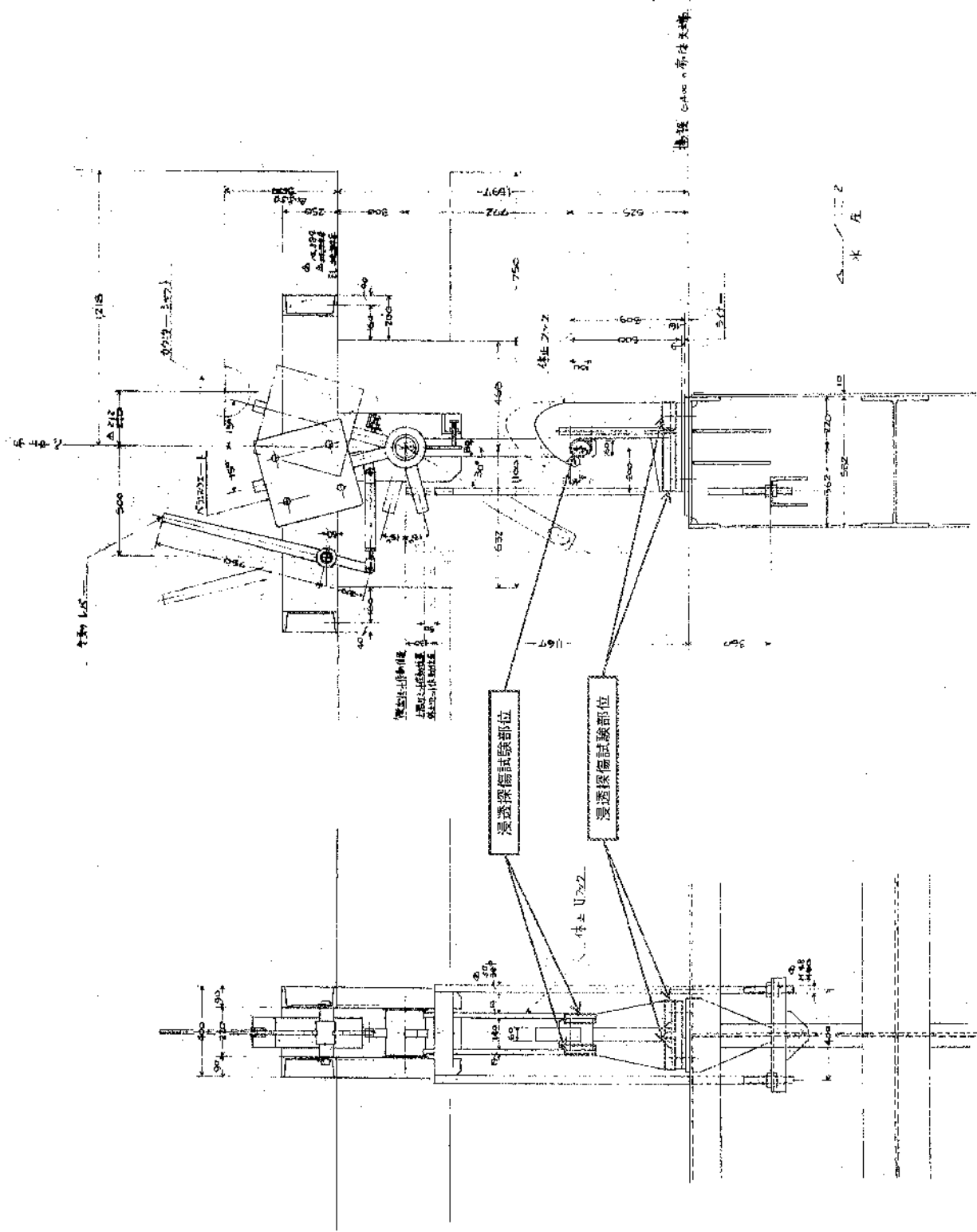
主要部品一覽表

番号	品名	材質	寸法	数量	備考
1	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
2	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
3	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
4	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
5	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
6	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
7	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
8	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
9	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
10	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
11	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
12	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
13	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
14	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
15	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
16	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz
17	子機用 2 24	鋼材	50mm 50 400V 50Hz	1	鋼材 50mm 50Hz

数量は1台分を基準とし、1台分は1台分を1台分とする。

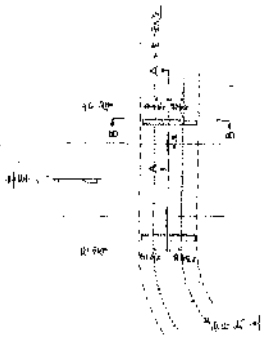




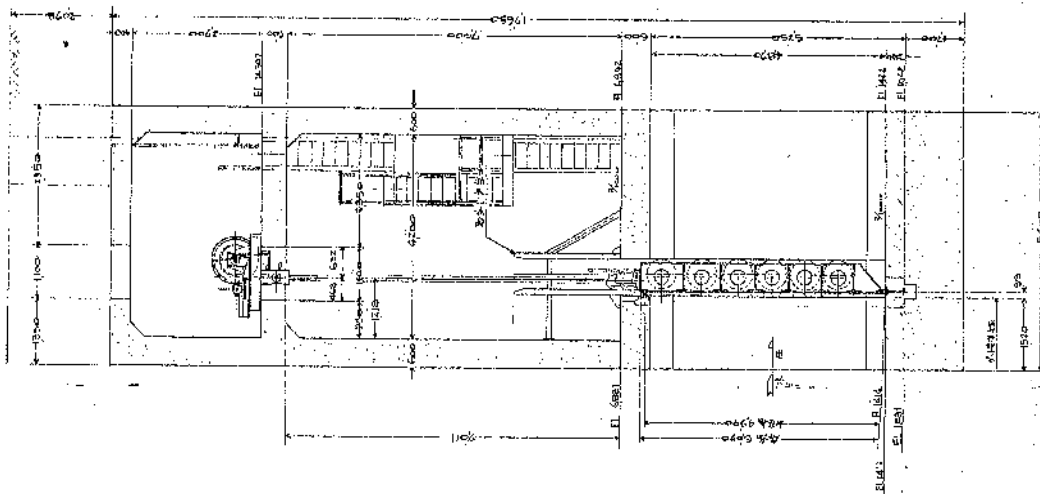


設備名 バスセンタ-前防水扉

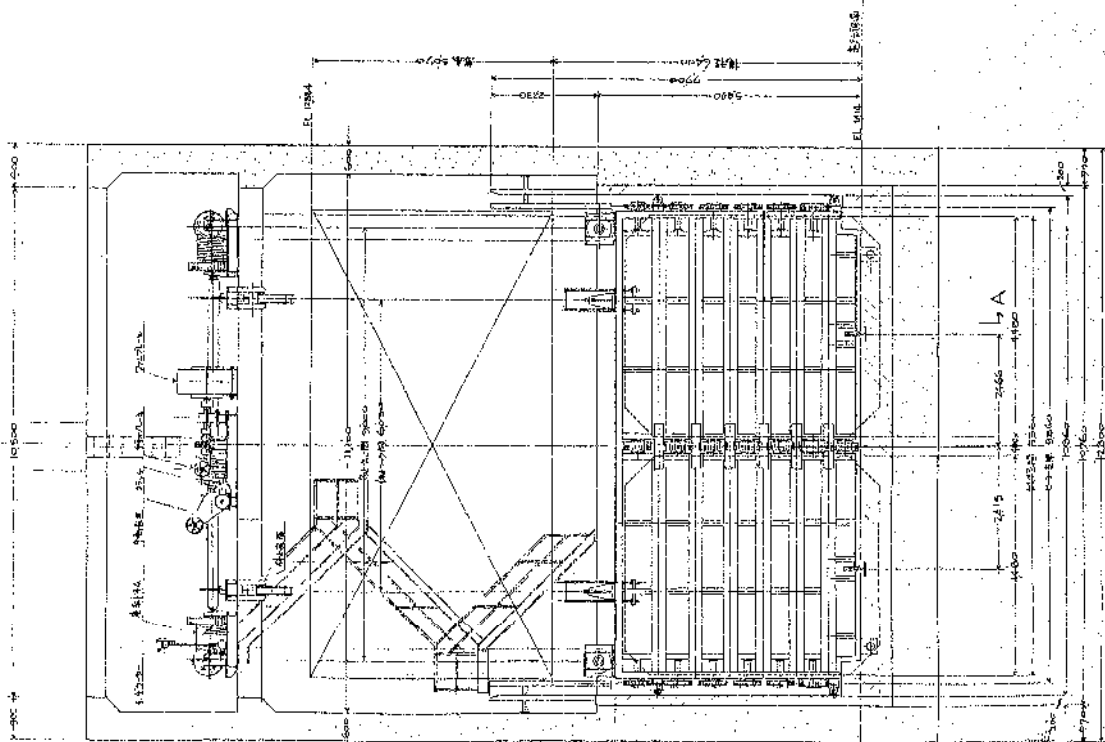
図面名 自動休止装置図



部	名	反
1	鉄骨造、RC造	
2	鉄骨造、RC造	
3	鉄骨造、RC造	
4	鉄骨造、RC造	
5	鉄骨造、RC造	
6	鉄骨造、RC造	
7	鉄骨造、RC造	
8	鉄骨造、RC造	
9	鉄骨造、RC造	
10	鉄骨造、RC造	
11	鉄骨造、RC造	
12	鉄骨造、RC造	
13	鉄骨造、RC造	
14	鉄骨造、RC造	
15	鉄骨造、RC造	
16	鉄骨造、RC造	
17	鉄骨造、RC造	
18	鉄骨造、RC造	
19	鉄骨造、RC造	
20	鉄骨造、RC造	
21	鉄骨造、RC造	
22	鉄骨造、RC造	
23	鉄骨造、RC造	
24	鉄骨造、RC造	
25	鉄骨造、RC造	
26	鉄骨造、RC造	
27	鉄骨造、RC造	
28	鉄骨造、RC造	
29	鉄骨造、RC造	
30	鉄骨造、RC造	
31	鉄骨造、RC造	
32	鉄骨造、RC造	
33	鉄骨造、RC造	
34	鉄骨造、RC造	
35	鉄骨造、RC造	
36	鉄骨造、RC造	
37	鉄骨造、RC造	
38	鉄骨造、RC造	
39	鉄骨造、RC造	
40	鉄骨造、RC造	
41	鉄骨造、RC造	
42	鉄骨造、RC造	
43	鉄骨造、RC造	
44	鉄骨造、RC造	
45	鉄骨造、RC造	
46	鉄骨造、RC造	
47	鉄骨造、RC造	
48	鉄骨造、RC造	
49	鉄骨造、RC造	
50	鉄骨造、RC造	
51	鉄骨造、RC造	
52	鉄骨造、RC造	
53	鉄骨造、RC造	
54	鉄骨造、RC造	
55	鉄骨造、RC造	
56	鉄骨造、RC造	
57	鉄骨造、RC造	
58	鉄骨造、RC造	
59	鉄骨造、RC造	
60	鉄骨造、RC造	
61	鉄骨造、RC造	
62	鉄骨造、RC造	
63	鉄骨造、RC造	
64	鉄骨造、RC造	
65	鉄骨造、RC造	
66	鉄骨造、RC造	
67	鉄骨造、RC造	
68	鉄骨造、RC造	
69	鉄骨造、RC造	
70	鉄骨造、RC造	
71	鉄骨造、RC造	
72	鉄骨造、RC造	
73	鉄骨造、RC造	
74	鉄骨造、RC造	
75	鉄骨造、RC造	
76	鉄骨造、RC造	
77	鉄骨造、RC造	
78	鉄骨造、RC造	
79	鉄骨造、RC造	
80	鉄骨造、RC造	
81	鉄骨造、RC造	
82	鉄骨造、RC造	
83	鉄骨造、RC造	
84	鉄骨造、RC造	
85	鉄骨造、RC造	
86	鉄骨造、RC造	
87	鉄骨造、RC造	
88	鉄骨造、RC造	
89	鉄骨造、RC造	
90	鉄骨造、RC造	
91	鉄骨造、RC造	
92	鉄骨造、RC造	
93	鉄骨造、RC造	
94	鉄骨造、RC造	
95	鉄骨造、RC造	
96	鉄骨造、RC造	
97	鉄骨造、RC造	
98	鉄骨造、RC造	
99	鉄骨造、RC造	
100	鉄骨造、RC造	

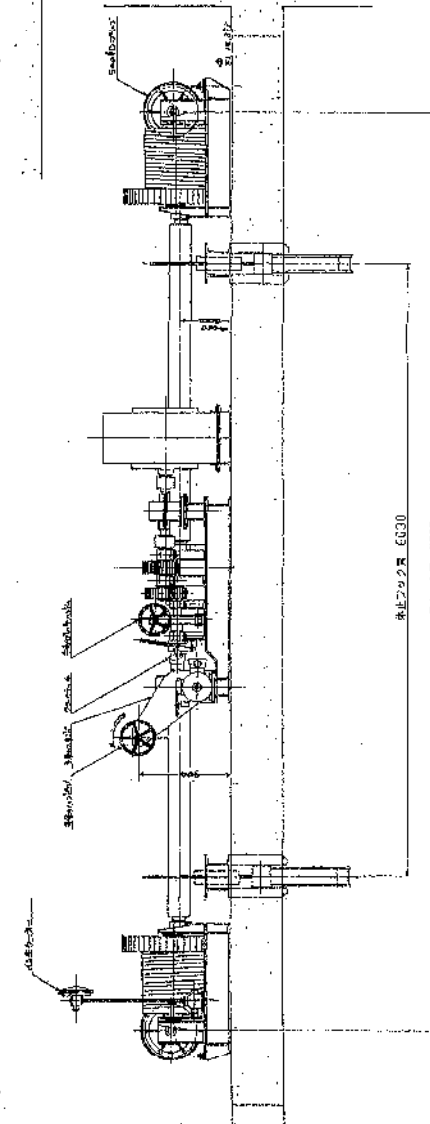
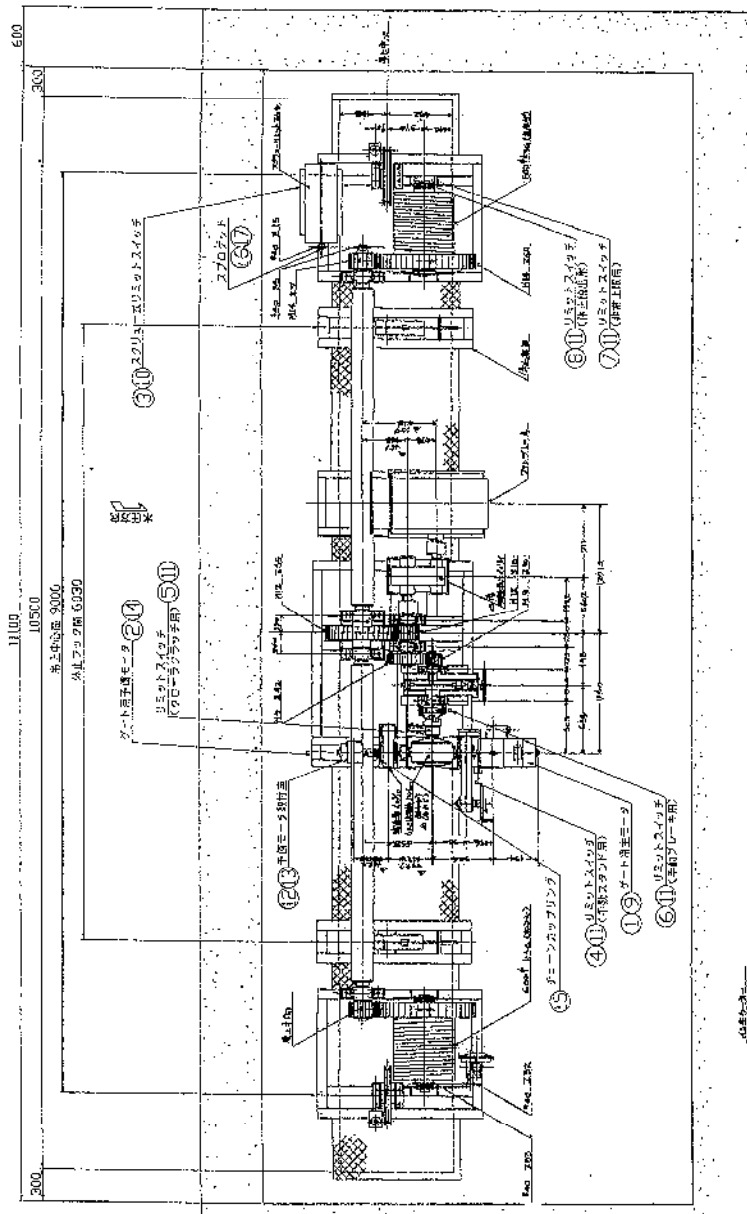


A-A



菊水駅防水壁
全体組立図

設備名 菊水駅防水壁
図面名 全体組立図

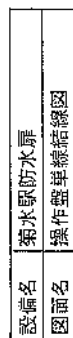


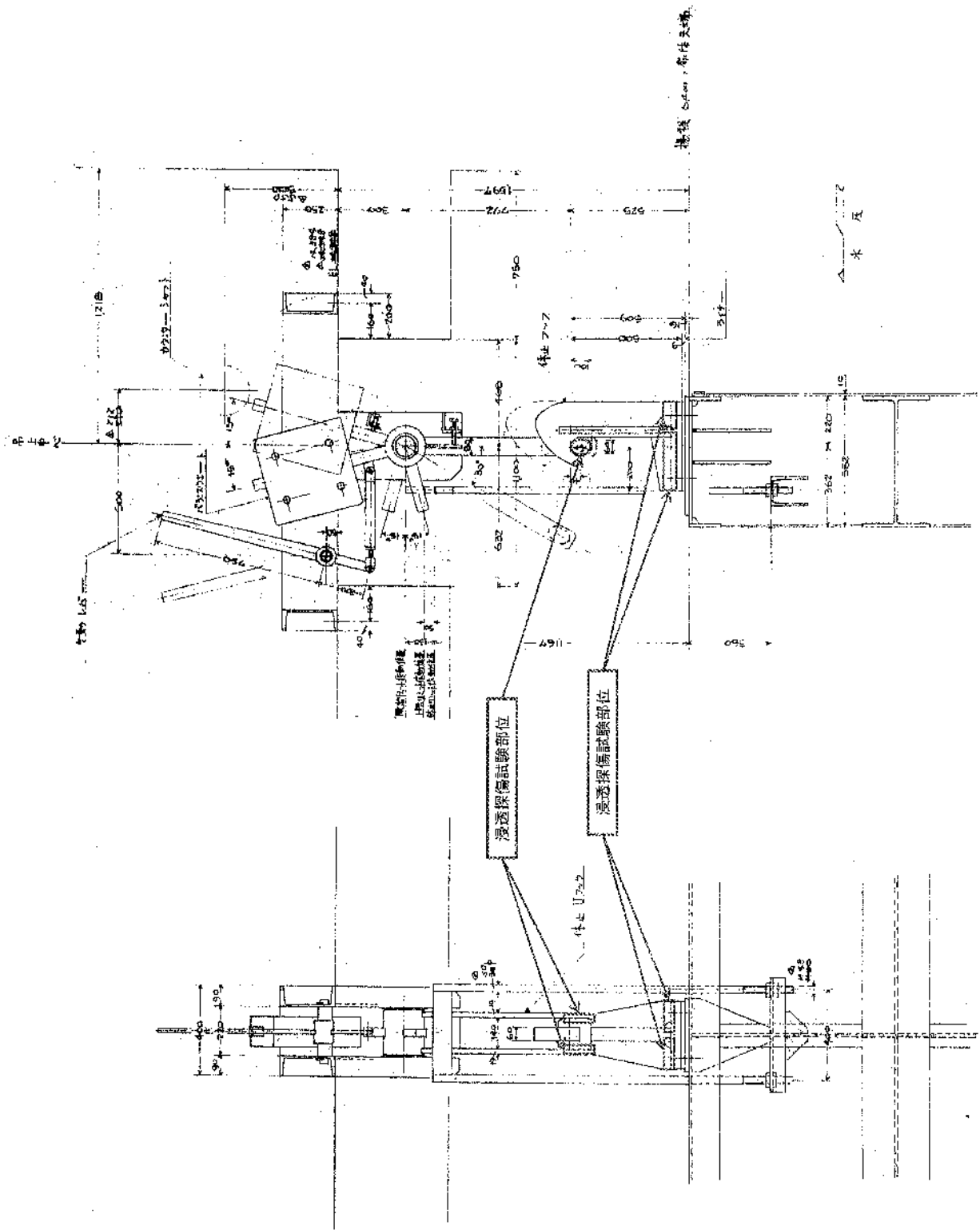
交換部品一覧表

部 号	名 称	材 質	寸 法	数 量	備 考
1	ゲート用主モーター	鉄鋼	500V 50Hz	1	購入品
2	ゲート用副モーター	鉄鋼	500V 50Hz	1	購入品
3	スプリング式リミットスイッチ	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
4	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
5	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
6	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
7	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
8	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
9	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
10	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
11	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
12	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
13	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
14	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
15	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
16	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品
17	リミットスイッチ(電動機用)	鉄鋼	100V 50Hz	1	購入品

数量は(内訳)を参照してください。

設備名	水防設備
図面名	水防設備仕様書





設備名	菊水駅防水扉
図面名	自動休止装置図

東西線(バスセンター前駅)防水扉定期点検整備表						
区	分	点 検 項 目	点 検 内 容	点 検 方 法	判 定	実 施 内 容 ・ そ の 他
扉 <						

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	点 検 方 法	判 定	実 施 内 容 ・ そ の 他
戸 当 り	可 動 部	設 備 全 般	清 掃 状 態	目 視	
		主 ロ ー ラ レ ー ル	変 形 ・ 損 傷	目 視	
			摩 耗	目 視	
		サ イ ド ロ ー ラ レ ー ル	変 形 ・ 損 傷	目 視	
			摩 耗	目 視	
	埋 没 部	レ ー ル サ ポ ー ト	変 形 ・ 損 傷	目 視	
		同 上 取 付 ボ ル ト	ゆ る み ・ 脱 落	目 視	
		主 ロ ー ラ レ ー ル	変 形 ・ 損 傷	目 視	
			摩 耗	目 視	
		サ イ ド ロ ー ラ レ ー ル	変 形 ・ 損 傷	目 視	
			摩 耗	目 視	
		上 部 水 密 板	変 形 ・ 損 傷	目 視	
開 閉 装 置	電 動 部	側 部 水 密 板	変 形 ・ 損 傷	目 視	
		下 部 水 密 板	変 形 ・ 損 傷	目 視	
		溶 接 部	割 れ	目 視	
		設 備 全 般	清 掃 状 態	目 視	
			塗 装 状 態	目 視	
			端 子 締 付 状 態	目 視	
		電 動 機 (主 ・ 補 助)	過 熱	指 触	
			振 動	指 触	
			異 音	聴 覚	
			絶 縁 抵 抗	測 定 (1Ω以上)	
		同 上 取 付 ボ ル ト	ゆ る み ・ 脱 落	目 視	
		電 磁 ブ レ ー キ	作 動	制 動 確 認	
			よ ご れ	目 視	
			ライニング間隔	目 視 ・ 測 定 (1.0mm以内)	
		ブ レ ー キ ラ イ ニ ン グ	摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		ス プ リ ン グ	摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		特 殊 ボ ル ト	摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		手 動 レ バ ー	作 動	目 視	
	ブ レ ー キ	ブ レ ー キ (手 動 式)	作 動	制 動 確 認	
			よ ご れ	目 視	
			ライニング間隔	目 視	
			ス ト ロ ー ク	目 視	
		同 上 取 付 ボ ル ト	ゆ る み ・ 脱 落	目 視	
		ブ レ ー キ ラ イ ニ ン グ	摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
※電動機: (株)明電舎製 (TISP70-TB1BA3) 補助電動機: 北芝電機(株) (SIKD-4P-FBKA3)					

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	点 検 方 法	判 定	実 施 内 容 ・ そ の 他
開閉装置	軸継手	軸 継 手 (モーター)	芯 狂 い	目 視	
			ゴ ム の 摩 耗	目 視	
			チ ェ ー ン 摩 耗	目 視	
			ギ ャ の 摩 耗	目 視	
	切替装置	切 替 装 置 (クローズスイッチ)	作 動	目 視	
			油 量 (グリス)	目 視	
			過 熱	指 触	
			振 動	指 触	
			異 音	聴 覚	
			油 よ ご れ	目 視	
		同上 取付ボルト	ゆるみ・脱落	目 視	
	減速機	減 速 機 (ウォーム・ ウォームギヤ)	油 量	目 視	
			油 の よ ご れ	目 視	
			漏 油	目 視	
			過 熱	指 触	
			振 動	指 触	
			異 音	聴 覚	
			歯 こ ぼ れ	目 視	
		同上 取付ボルト	ゆるみ・脱落	目 視	
	開放歯車	中 間 ギ ヤ	給 油 状 態	目 視	
			異 音	聴 覚	
			歯 こ ぼ れ	目 視	
			歯 当 ・ か み 合 い	目 視	
			バックラッシュ	目 視 ・ 測 定	
			摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		軸 止 キ	ゆるみ・脱落	目 視	
		軸 受	給 油 状 態	目 視	
			摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		同上 取付ボルト	ゆるみ・脱落	目 視	
		ギ ャ カ バ ー	変 形 ・ 損 傷	目 視	
		同上 取付ボルト	ゆるみ・脱落	目 視	
		ド ラ ム ギ ヤ	給 油 状 態	目 視	
			異 音	聴 覚	
			歯 こ ぼ れ	目 視	
			歯 当 ・ か み 合 い	目 視	
			バックラッシュ	測 定	
			摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		ギ ャ カ バ ー	変 形 ・ 損 傷	目 視	
		同上 取付ボルト	ゆるみ・脱落	目 視	

区 分	点 検 項 目	点 検 内 容	点 検 方 法	判 定	実 施 内 容 ・ そ の 他
開閉装置	巻上ドラム	ドラム	摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		同 上 軸 受	給 油 状 態	目 視	
			摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		ロープ止金具	ゆ る み	目 視	
	伝道軸	ギヤ止めボルト	ゆ る み ・ 脱 落	目 視	
		軸	曲 り ・ 損 傷	目 視	
		軸 継 手	芯 狂 い	目 視	
			ゴ ム の 摩 耗	目 視	
	ワイヤーロープ	同上取付ボルト	ゆ る み ・ 脱 落	目 視	
		ワイヤーロープ 公 称 径 28mm	給 油 状 態	目 視	
			ゴミ異物の付着	目 視	
			素 線 切 損	目 視	
			摩 耗	目 視・測定	
		ロープ 端 末	変 形 ・ 損 傷	目 視	
			ロックナットの緩み	目 視	
			ロープ 長 さ	目 視	
	シーブ	シーブ 軸 受	給 油 状 態	目 視	
			摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		シーブ 及 び 軸	作 動	目 視	
		シーブ 軸	摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
	休止装置	シーブ カバ ー	変 形 ・ 損 傷	目 視	
		休止装置	作 動	目 視	
			給 油 状 態	目 視	
		ゲート側フック	摩 耗 ・ 損 傷	カラーチェック	
	開度計	巻上げ機側フック	摩 耗 ・ 損 傷	カラーチェック	
		開 度 計	盤 面 の 曇 り	目 視	
			作 動	目 視	
	リミット	ギヤ及びチェーン	給 油 状 態	目 視	
		設 備 全 般	摩 耗 ・ 損 傷	目 視	
		切 替 装 置	作 動	目 視	
		非 常 上 限	作 動	目 視	
		休 止 位 置	作 動	目 視	
		急 降 下	作 動	目 視	
	手動	手 動 装 置	作 動	目 視	
			摩 耗 ・ 損 傷	目 視	

区 分		点 検 項 目	点 検 内 容	点 検 方 法	判 定	実 施 内 容 ・ そ の 他
開閉装置	急降下装置	ファンブレーキ	作 動	目 視		
			摩 耗 ・ 損 傷	目 視		
		チェーンカップリング	摩 耗 ・ 損 傷	目 視		
		増 速 機	油 量	目 視		
			油 の よ ご れ	目 視		
			漏 油	目 視		
			歯 こ ぼ れ	目 視		
		同上取付ボルト	ゆるみ・脱落	目 視		
制御装置	全般	設 備 全 般	清 掃 状 況	目 視		
			内 部 乾 燥	目視・指触		
	機側操作盤	取 付 ボ ル ト	ゆるみ・脱落	目 視		
		表 示 灯	点 灯	目 視		
		押 ボ タ ン	作 動	目 視		
		電 磁 開 閉 機	作 動 状 態	作 動		
		3E リ レ ー	作 動 状 態	作 動		
		補 助 リ レ ー	作 動 状 態	作 動		
		電 圧 計	電 圧 値	測 定		
		電 流 計	電 流 値	測 定		
		警 報 ・ ベ ル	作 動	作動テスト		
		配 線	端 子 接 着 状 態	目視・増締		
			配 線 状 態	目 視		
		絶 縁	絶 縁 抵 抗	測 定 (1Ω以上)		
		スペースヒーター	作 動	目視・テスト		
		盤 内 照 明	作 動 ・ 点 灯	目 視		
		ド ア ス イ ッ チ	作 動	目視・テスト		
		警 報 器	作 動	回路テスト		

防 水 扉 検 査 記 録

区分	検 査 項 目	検 査 内 容	基 準	点 検 方 法
扉 体	スキンプレート 主桁及び	1 溶接部の亀裂の有無 2 接合部のボルト・ナットの緩みの有無		目視 目視
	サイドローラー メインローラー及び	1 軸及び軸受メタル損傷の有無 2 油切れ・変質の有無 3 ガードレールの損傷の有無	腐食・変形の点検	目視・回転確認 目視・回転確認・給脂 目視
	水 密 部	1 水密ゴムのへたりの有無 2 ゴム押さえ状態の適否	取付ボルトの緩みの 点検	目視 目視
巻 上 機	減 速 機	1 ピニオンギヤ歯面の摩耗・損傷の有無 2 ウォーム・ウォームギヤ歯面の摩耗・損傷の有無 3 バックラッシュの適否 4 キー及びキー溝のガタの有無 5 油切れ・変質の有無		目視または聴覚 目視または聴覚 目視・測定 目視 目視(給油)
	クラッチ ブレーキ・	1 ブレーキレバーの動作状態の適否 2 ブレーキドラム・ライニングの摩耗・損傷の有無 3 クロークラッチの損傷の有無		動作確認 目視 目視
	ロープ ワイヤー	1 ワイヤロープの摩耗・損傷の有無 2 油切れ・変質の有無		目視・測定 目視(給脂)
自動 休止 装置	フック	1 ゲート側フックの損傷の有無 2 巻き上げ機側フックの損傷の有無	カラーチェックによる 探傷検査	目視・カラーチェック 目視・カラーチェック

区分	検 査 項 目	検 査 内 容	基 準	点 検 方 法
手動装置	噛合い部	1 カップリングギヤー・ピニオン・スプロケットの摩耗・損傷の有無 2 巻上げハンドルの動作状態の適否		目視または聴覚 動作確認
その他	シロッコファン	1 軸・軸受・羽根の損傷の有無 2 ダンパーの動作状態の適否		目視 動作確認・目視
電気関係	電動機	1 絶縁状態の適否 2 発熱・振動・異音の有無 3 軸受の損傷の有無 4 塗装状態の適否 5 端子締付の適否 6 電磁ブレーキ解放の適否	電動機回路 1MΩ以上	測定 目視・聴覚・指触 動作確認・聴覚 目視 目視・増締め 動作確認
	リミットスイッチ	1 絶縁状態の適否 2 外観の異常の有無 3 内部の異常の有無 4 動作状態の適否	リミットスイッチ回路 1MΩ以上	測定 目視 目視 動作確認

防水扉操作説明書

1. 操作説明

(1) 主電動機駆動の場合

操作室に設ける操作盤の門扉開閉用の押ボタンスイッチを押すことにより、門扉の巻上げ及び巻下げを行うものとします。

巻上げ又は巻下げの途中で門扉を停止させる必要がある場合は、停止用の押ボタンで行うものとします。上限、下限の場合は上下限リミットスイッチにより自動的に停止させ「上限」「下限」「停止」「休止」等は表示灯により表示するものとします。

(2) 補助電動機駆動の場合（東西線・東豊線の場合）

東西線は補助電動機を動力伝達部に接続し、東豊線はモータ側ミューリフタブレーキを操作し、それぞれ操作室に設ける操作盤の門扉開閉用の押ボタンスイッチを押すことにより、門扉の巻上げを行うものとします。その他の操作、自動停止、表示灯は主電動機駆動の場合と同じです。

(3) 手動駆動の場合

南北・東西線は電動。手動切換ハンドルを手動の位置に固定、東豊線はモータ側ミューリフタブレーキを解放とし、手動ハンドルを巻上げ、巻下げ方向に操作することにより、門扉の開閉を行うものとします。この場合には各リミットスイッチは作動しないものとします。

※各線毎の操作説明は次の通り

A 南北線（幌平橋駅）

1 運転前準備

1) 制御盤大扉を開け、全てのブレーカを投入して下さい。

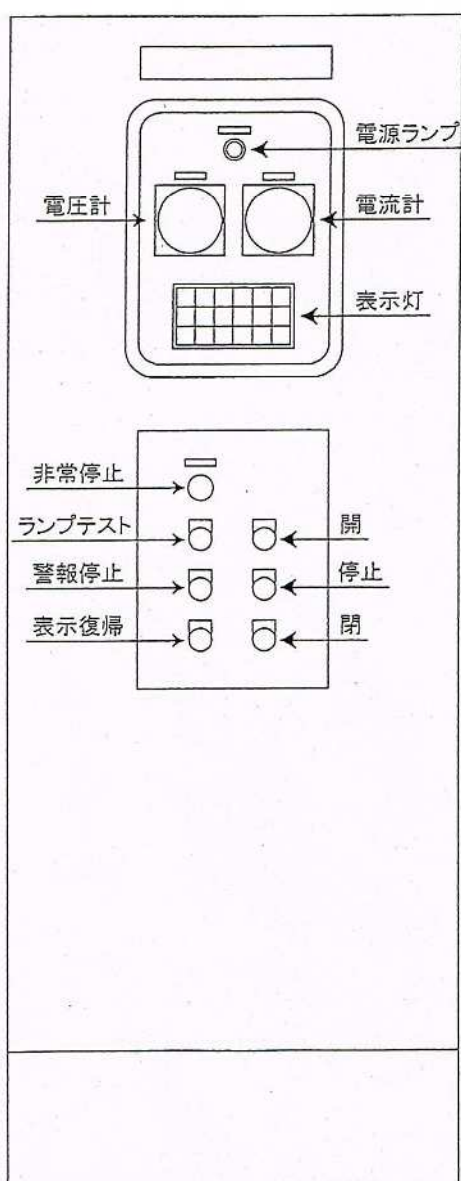
電 源

の表示ランプが点灯しているときは、電動機による操作が可能です。

押釦スイッチにより、ゲートの閉（休止脱出）と開（休止）操作が可能です。

電 源

のランプが消灯しているときは、電動機による操作はできませんので手動操作して下さい。



表示灯配置図

全開 W	↓ W	休止 W	左休止 ハンガー 閉 W	右休止 ハンガー 閉 W	W
↑ W	全閉 W	休止脱 上限 W	手動式 クラッチ 電動 W	手動式 ブレーキ ゆるめ W	手巻 W
3E 動作 R	漏電 R	MCB 動作 R	R	R	R

2 電動機による運転(電源ランプ点灯時)

1) 休止脱出操作

休止位置より **開** の押釦スイッチを押して下さい。

ゲートが上昇し、休止脱出の位置で自動停止します。(フックも自動で外れます。)

表示灯は  が点灯し、停止時は **休止脱上限** が点灯します。

2) ゲート閉操作

閉 の押釦スイッチを押して下さい。

ゲートが下降し、全閉の位置で自動停止します。

表示灯は  が点灯し、停止時は **全閉** が点灯します。

3) ゲート停止操作

停止 の押釦スイッチを押して下さい

ゲートは停止します。

表示灯は  又は  が消灯します。

4) ゲート開操作

休止位置以外のところより **開** 押釦スイッチを押して下さい。

ゲートが上昇し、全開位置で自動停止します。

表示灯は  が点灯し、停止時は **全開** が点灯します。

5) 休止操作

全開位置より **閉** の押釦スイッチを押して下さい。

ゲートが下降し、休止の位置で自動停止します。

表示灯は  が点灯し、停止時は **休止** が点灯します。

6) 非常停止操作

緊急時にゲートを停止したい場合に、**非常停止** の押釦スイッチを押して下さい。

電動機電源ブレーカがトリップして、ゲートは強制停止します。

表示灯は **MCB動作** が点灯します、

7) 非常停止復帰操作

非常停止の復旧は次の手順で行ってください。

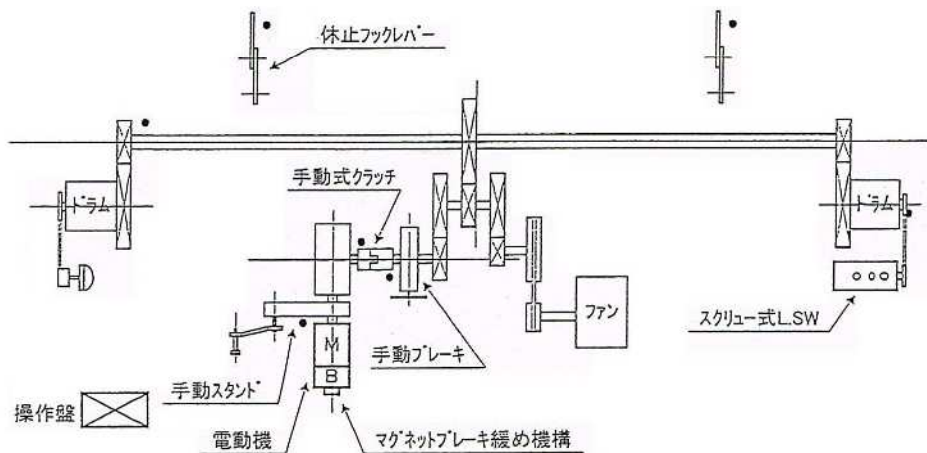
- ① **非常停止** の押釦スイッチを押して下さい。
- ② 電動機電源ブレーカのレバーを「OFF」にして下さい。
- ③ 電動機電源ブレーカのレバーを「ON」にして下さい。
- ④ **表示復帰** の押釦スイッチを押して下さい。
- ⑤ 表示灯の **MCB動作** が点灯します。

3 手動による休止脱出操作（電源ランプ消灯時）

- 1) 手動式ブレーキを「締め」て下さい。（常時は「ゆるめ」）
- 2) 電動機のマグネットブレーキを手動にて解放して下さい。
- 3) 手動スタンドの切換装置レバーを「手動」にして下さい。
- 4) 手動式クラッチレバーを「電動、手巻」側の位置にして下さい。（常時は「電動、手巻」側）
- 5) 手動式ブレーキを「ゆるめ」にして下さい。
- 6) 手動スタンドの手動ハンドルをゲート上昇方向に回して下さい。
- 7) ゲートが休止フックから外れる位置まで上昇させて下さい。

4 手動による急降下操作

- 1) 手動式ブレーキを手動で「締め」て下さい。（常時は「ゆるめ」）
- 2) 手動式クラッチレバーを手動で「急降下」側に切換て下さい。（常時は「電動、手巻」側）
- 3) 手動式ブレーキを手動で「ゆるめ」て下さい。ゲートは急降下します。



5 保護装置

- 1) ゲート運転中に、3E動作（電動機過負荷・欠相、電源の逆送）、MCB動作（過大電流、非常停止）になるとゲートが自動停止し、表示灯が点灯し警報が鳴ります。
- 2) ゲート運転中に漏電が発生すると、表示灯が点灯し警報ブザーが鳴ります。
漏電の時はゲートは停止しません。

6 警報ブザー

1) 警報ブザー

漏電 3E動作 MCB動作 になると警報ブザーが鳴ります。

2) 警報停止操作

警報停止 の押釦スイッチを押すと警報は停止します。

警報停止 の押釦スイッチを押さないときは、警報停止タイマーで設定時間後に自動停止します。

B 東西線（バスセンター前及び菊水駅）

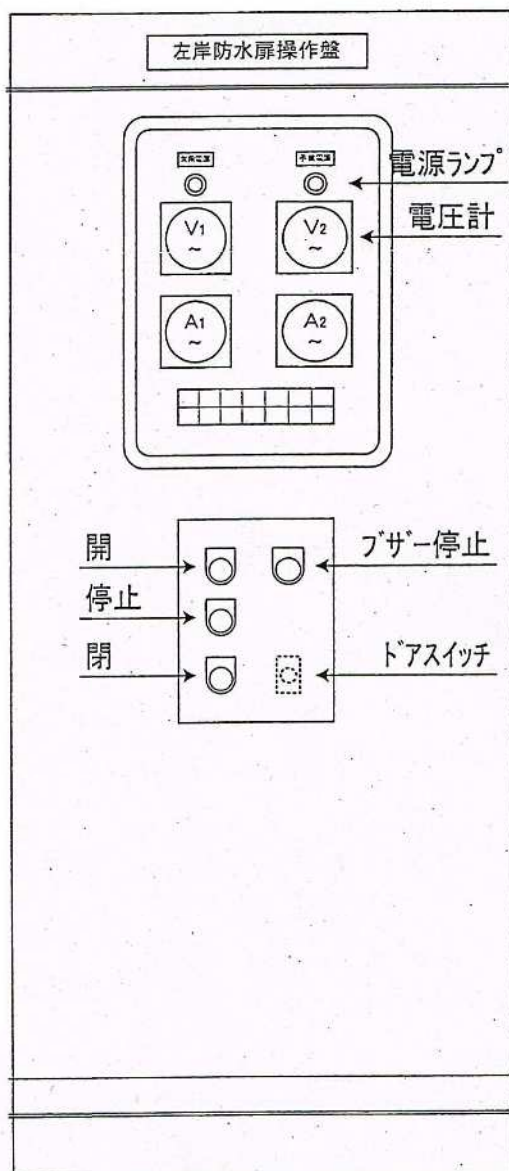
1 運転前準備

1) 制御盤大扉を開け、全てのブレーカを投入して下さい。

常用電源 の表示ランプが点灯しているときは、電動機による操作が可能です。
押釦スイッチにより、ゲートの閉（休止脱出）と開（休止）操作が可能です。

予備電源 のランプが点灯しているときは、補助モーターによる運転が可能です。
主モーターによる運転は、できません。
押釦スイッチにより ゲートの 休止脱出 操作が可能です。

ランプが消灯しているときは、電動により操作はできませんので手動操作して下さい。



表示灯配置図

主電動機	全開	↓	休止	電復源帰	3Eリレー	非上常限
補助電動機	↑	全閉	停止	急下降中	サーマルリレー	過下巻げ

<表示灯> <操作>
 休止
 ↓
 主電動機 開ボタン
 ※休止脱出
 ↓
 全開
 ↓
 主電動機 閉ボタン
 ↓
 全閉
 ↓
 主電動機 開ボタン
 ↓
 全開
 ↓
 主電動機 閉ボタン
 ↓
 休止

2 主モータによる運転(常用電源点灯時)

1) 休止脱出操作

休止位置より (開) の押釦スイッチを押して下さい。

ゲートが上昇し、休止脱出の位置で自動停止します。(フックも自動で外れます。)

表示灯は 主電動機  が点灯し、停止時は 全開 が点灯します。

2) ゲート閉操作

(閉) の押釦スイッチを押して下さい。

ゲートが下降し、全閉の位置で自動停止します。

表示灯は 主電動機  が点灯し、停止時は 全閉 が点灯します。

3) ゲート停止操作

(停止) の押釦スイッチを押して下さい

ゲートは停止します。

表示灯は 休止 が点灯します。

4) ゲート開操作

休止位置以外のところより (開) 押釦スイッチを押して下さい。

ゲートが上昇し、全開位置で自動停止します。

表示灯は 主電動機  が点灯し、停止時は 全開 が点灯します。

5) 休止操作

全開位置より (閉) の押釦スイッチを押して下さい。

ゲートが下降し、休止の位置で自動停止します。

表示灯は 主電動機  が点灯し、停止時は 休止 が点灯します。

3 補助モータによる休止脱出操作(予備電源ランプ点灯時)

補助モータによる運転は、休止脱出操作のための目的でゲート開方向のみの運転です。

1) 減速機①と②の間にあるチェンカップリングをセットして下さい。

2) 主電動機のマグネットブレーキを緩めてください。

3) (開) の押釦スイッチを押して下さい。

表示灯は 補助電動機  が点灯し、停止時 全開 が点灯します。

4 手動による休止脱出操作（電源ランプ消灯時）

- 1) 手動式ブレーキを「締め」て下さい。（常時は「ゆるめ」）
- 2) 電動機のマグネットブレーキを手動にて解放して下さい。
- 3) 手動スタンドの切換装置レバーを「手動」にして下さい。
- 4) 手動式クラッチレバーを「電動、手巻」側の位置にして下さい。（常時は「電動、手巻」側）
- 5) 手動式ブレーキを「ゆるめ」にして下さい。
- 6) 手動スタンドの手動ハンドルをゲート上昇方向に回して下さい。
- 7) ゲートが休止フックから外れる位置まで上昇させて下さい。

5 手動による急降下操作

- 1) 手動式ブレーキを手動で「締め」て下さい。（常時は「ゆるめ」）
- 2) 手動式クラッチレバーを手動で「急降下」側に切換て下さい。（常時は「電動、手巻」側）

注. 手動式クラッチに荷重が掛かってか解放不能な場合は、

- ・手動スタンドを手前側に切換える。
- ・主電動機Mgブレーキも緩める。
- ・手動スタンドのハンドルを回して加減を見ながらクロークラッチを解放する。

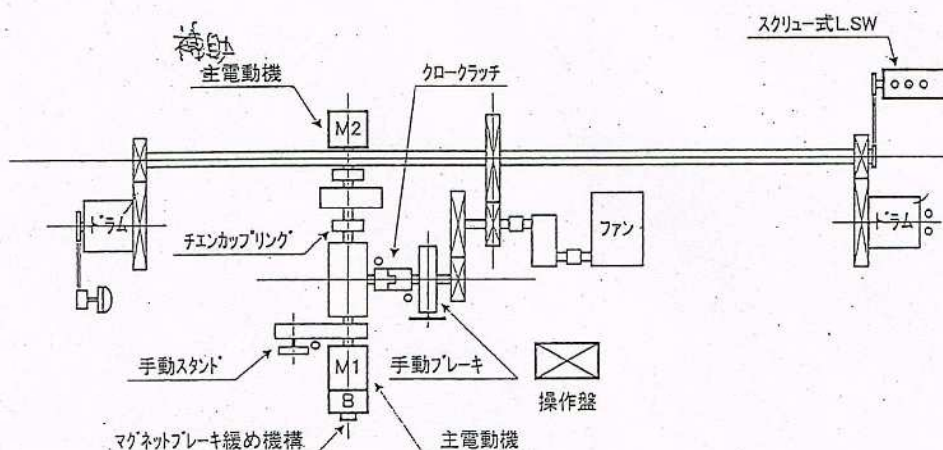
- 3) ファンブレーキの開度を確認する。
- 4) 手動式ブレーキを手動で「ゆるめ」て下さい。ゲートは急降下します。

防水扉自動落下

↓ → 注. 中間停止危険、開度計、表示等(全閉)注視

防水扉着床(全閉)

- 5) 防水扉全閉と同時に手動ブレーキを締める。



6 警報ブザー

1) 急降下警報

手動により急降下を行うため、手動ブレーキ及びクローラクラッチをセットした場合に警報ブザーが断続的に吹鳴します。

2) 電源復帰警報

予備電源時に常用電源が復帰した場合は、警報ブザーで知らせ自動的に常用電源に切り替わります。

ただし、補助モータ運転中は切り替わらず、モータ停止後切り替わります。

7 保護装置

ゲート運転中に 主電動機主電動機過負荷、欠相、逆相 補助電動機過負荷ワ 非常上限 過巻下げ になるとゲートが自動停止し、表示灯が点灯し警報ブザーが鳴ります。

ブザー停止の押釦を押すと、警報停止します。

内 訳 書（見 積 参 考）

業務名 防水扉定期点検整備（南北線、東西線）

本設計書は、発注者の施工計画に基づいて作成した設計
図書の一部を、見積り算定の参考として提示するもので、
契約上、これを拘束するものではありません。

令和7年8月

業務内容説明書

1. 業務名称 防水扉定期点検整備（南北線、東西線）
2. 業務場所 幌平橋駅、バスセンター前駅、菊水駅
3. 委託費総額 金 円
内 訳
業務価格 金 円
消費税等相当額 金 円
4. 履行期間 契約書に示す着手の日から令和8年3月19日まで
5. 業務概要 防水扉（幌平橋駅1門、バスセンター前駅-菊水駅間2門）の定期点検及び整備
6. 備考

内 訳 書

名 称	摘 要	単位	数量	単 価	金 額	率	備 考
業務費							
業務原価							
直接業務費							
直接人件費		式	1				
直接物品費		式	1				
直接業務費計							
業務管理費	直接業務費×率	式	1				
業務原価計							
一般管理費	業務原価計×率	式	1				
業務費計							
再 計							
消費税等相当額		%					
業務委託料計							

細 目 内 訳 書

名 称	摘 要	単位	数量	単 価	低減率	計算額	決定金額	備 考
1. 直接人件費								
南北線夜間整備	幌平橋駅	式	1					
東西線夜間整備	バスセンター前駅	式	1					
東西線夜間整備	菊水駅	式	1					
昇降用ワイヤーロープ 詳細点検		式	1					
転落防止用ワイヤーロー プ設置	労務費	ヶ所	3					
合計								
2. 直接物品費								
転落防止用ワイヤーロー プ設置	材料費	ヶ所	3					
消耗品費		式	1					
合計								